

第6課

❖❖ 電話でピクニックの相談をする(1) ❖❖

スキット

のぞみがサイダに電話をかけようとしていますー

Saida (S) : Haloo ?

Nozomi (N) : Haloo, hapa nazungumza Nozomi.

Ni Saida ?

S : Ndiye mimi, hujambo ?

N : Ee, sijambo.

Juzi tulizungumzia mandari.

Je, tutakwenda lini ?

S : Unaonaje **Jumamosi** ya wiki ijayo ?

N : Ee, sawa.

S : Basi, **twende** Banpaku Kinen Kouen **Jumamosi** ya wiki ijayo.

サイダ (S) : もしもし？

Moshimoshi ?

のぞみ (N) : もしもし、のぞみだけど。

Moshimoshi, Nozomi da kedo.

サイダ？

Saida ?

S : うん、私、こんにちは、元気？

Un, watashi, konnichiwa, genki ?

N : うん、元気。

Un, genki.

この間、ピクニックの話したよね。

Konoaida, pikunikku no hanashi shita yo ne.

いつ行く？

Itsu iku ?

S : 来週の土曜日はどう？

Raishuu no doyoubi wa dou ?

N : うん、いいよ。

Un, ii yo.

S : じゃあ、来週の土曜日、万博記念公園に行こう。

Jaa, raishuu no doyoubi, Banpaku Kinen Kouen ni ikou.

解 説

第6課では、次の項目について学びます。

- ◆ 曜日
- ◆ [動詞シルシ形] シ・シテ・シヨウ式(1)



◆ 曜日

スキットの中に‘Jumamosi’〈土曜日〉が出てきましたね。

S : Unaonaje **Jumamosi** ya wiki ijayo ?
〈来週の土曜日はどう？〉

土曜日以外の曜日についてもここで合わせて見ておきましょう。次のようになっています。

▽ 曜日

〈土曜日〉 **Jumamosi**
〈日曜日〉 **Jumapili**
〈月曜日〉 **Jumatatu**

〈火曜日〉 **Jumanne**
〈水曜日〉 **Jumatano**
〈木曜日〉 **Alhamisi**
〈金曜日〉 **Ijumaa**

‘Jumamosi’〈土曜日〉から‘Jumatano’〈水曜日〉までの曜日は、〈週〉を表わす語‘Juma’に、1, 2, 3, 4, 5 の順番を表わす数字‘mosi’, ‘pili’, ‘tatu’, ‘nne’, ‘tano’がくっついて表わされています。

〈土曜日〉 **Jumamosi**
〈1 番目の〉
〈日曜日〉 **Jumapili**
〈2 番目の〉
〈月曜日〉 **Jumatatu**
〈3 番目の〉
〈火曜日〉 **Jumanne**
〈4 番目の〉
〈水曜日〉 **Jumatano**
〈5 番目の〉

今日が何曜日であるのかを尋ねる場合はこのように言います。‘leo’が〈今日〉, ‘ni’が〈～である〉, ‘siku’が〈日〉, ‘gani’が〈どんな〉という意味です。

Leo ni siku gani? 〈今日は何曜日ですか?〉

さあ、曜日を見たので、日付の表わし方についても一緒に見ておきましょう。〈日〉は‘tarehe’です。〈～月～日〉の〈～日〉は、この‘tarehe’の後に順番を表わす数字を置いて表わします。

▽ ～日

| | |
|------|-------------|
| 〈1日〉 | tarehe mosi |
| 〈2日〉 | tarehe pili |
| 〈3日〉 | tarehe tatu |
| 〈4日〉 | tarehe nne |
| 〈5日〉 | tarehe tano |
| ⋮ | ⋮ |

今日が何日なのかを尋ねる場合はこのように言います。‘ngapi’は〈いくつの〉という意味です。

Leo ni tarehe ngapi? 〈今日は何日ですか?〉

〈月〉は‘mwezi’です。〈～月～日〉の〈～月〉は、‘mwezi wa’の後に順番を表わす数字を置いて表わします。‘mwezi’がクラス3の名詞なので、〈の〉の形が‘wa’になります。1月のみ順番を表わす数字‘mosi’〈1番目の〉を用いず、‘kwanza’〈最初の〉という語を用いて、‘mwezi wa kwanza’〈最初の月〉と表わします。

▽ ～月

| | |
|------|-----------------|
| 〈1月〉 | mwezi wa kwanza |
| 〈2月〉 | mwezi wa pili |
| 〈3月〉 | mwezi wa tatu |
| 〈4月〉 | mwezi wa nne |
| 〈5月〉 | mwezi wa tano |
| ⋮ | ⋮ |

〈～月〉は英語から入った語を使うこともあります。こちらに合わせて見ておきましょう。

▽ ～月 (英語から入った語)

| | |
|------|----------|
| 〈1月〉 | Januari |
| 〈2月〉 | Februari |
| 〈3月〉 | Machi |
| 〈4月〉 | Aprili |
| 〈5月〉 | Mei |

| | |
|-------|----------|
| 〈6月〉 | Juni |
| 〈7月〉 | Julai |
| 〈8月〉 | Agosti |
| 〈9月〉 | Septemba |
| 〈10月〉 | Oktoba |
| 〈11月〉 | Novemba |
| 〈12月〉 | Desemba |

今月が何月なのかを尋ねたい場合はこのように言います。クラス3の〈この〉の形は‘huu’でしたね。

Huu ni mwezi gani? 〈今月は何月ですか?〉

〈～月～日～曜日〉を言う場合は、日本語と順番が全く逆になります。スワヒリ語ではまず最初に曜日を言い、次に日を言い、その後に月を言います。年も言う場合は、年が一番最後に言います。

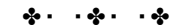
▽ ～月～日～曜日

■, tarehe ●, mwezi wa ▲

〈▲月 ●日 ■曜日〉

例えば、「7月12日土曜日」はこのように言います。

((例)) Jumamosi, tarehe kumi na mbili, mwezi wa saba
〈7月12日土曜日〉



◆ [動詞シルシ形] シ・シテ・シヨウ式(1)

さあ、続いて動詞シルシ形のシ・シテ・シヨウ式について見ていきましょう。スキットにこのような形のものが出てきましたね。これがシ・シテ・シヨウ式です。

S : Basi, **twende** Banpaku Kinen Kouen (...).
〈じゃあ、(...) 万博記念公園に行こう。〉

これまでの課のスキットにもいくつか出てきていました。

S : (...), basi lete, **nimrudishie**.
〈(...)、貸して、返しておくよ。〉

(第3課)

N : (...), **tufuatane** kwenda madukani ?
〈(...)、一緒に買い物に行かない?〉

(第4課)

S : **Tukutane** wapi na saa ngapi ?
〈待ち合わせ、どこで何時にする？〉

(第4課)

S : (…), **mpumzike** kama mpo nyumbani kwenu.
〈(…), ゆっくりしてね。〉

(第5課)

いずれも文字通りは、次のような意味です。

| | |
|-------------------|--------------------------|
| twende (< tuende) | 〈 <u>私たちは行こう</u> 〉 |
| nimrudishie | 〈私が彼(女)に返すよ〉 |
| tufuatane | 〈 <u>私たちは連れ合おう</u> 〉 |
| tukutane | 〈 <u>私たちは会おう</u> 〉 |
| mpunzike | 〈 <u>あなたたちは休んでください</u> 〉 |

シ・シテ・シヨウ式の仕組みはこのようになっています。時間のシルシは入りません。動詞本体は、尻尾が‘-a’のもののみ、その‘-a’を‘-e’に変える必要があります。

▽ シ・シテ・シヨウ式

| | | | | |
|------------|---|-------------|---|--------|
| 主語の シルシ | - | 目的語の シルシ | + | [動詞本体] |
|------------|---|-------------|---|--------|

(-a ⇒ -e)

シ・シテ・シヨウ式の否定形は、否定のシルシ‘-si-’を主語のシルシの後に置きます。

▽ シ・シテ・シヨウ式(否定形)

| | | | | | | |
|------------|---|----|---|-------------|---|--------|
| 主語の シルシ | - | si | - | 目的語の シルシ | + | [動詞本体] |
|------------|---|----|---|-------------|---|--------|

(-a ⇒ -e)

シ・シテ・シヨウ式は単独で現われていても、その前に必ず想定された語があります。

| | |
|--|-----------|
| | シ・シテ・シヨウ式 |
|--|-----------|

日本語で「～し」とか、「～して」と言う場合、何か別の語とつながっていますよね。例えば「読む」という語では「読み・ーたい」とか、「読んで・ーほしい」などとなります。スワヒリ語のシ・シテ・シヨウ式も必ず他の語とつながっていて、意向や丁寧な促し、頼みなどの意をともに表わします。

| |
|---|
| <p>[動詞シルシ形] シ・シテ・シヨウ式 「～し」「～して」「～しよう」</p> |
|---|

例を出して見ておきましょう。

○ 意向

((例 1)) **Niende.** <(私は)行こう。>
<(私が)行きたい。>

((例 2)) **Nisiende.** <(私は)行かないでおこう。>
<(私は)行きたくない。>
(‘+ enda’ <行く>)

○ 丁寧な頼み・促し

((例 3)) **Tukae.** <(私たちは)座りましょう。>

((例 4)) **Tusikae.** <(私たちは)座らないようにしましょう。>
(‘+ kaa’ <座る>)

((例 5)) **Uniulize.** <(あなたは)私に聞いて下さい。>

((例 6)) **Usiniulize.** <(あなたは)私に聞かないでください。>
(‘+ uliza’ <尋ねる>)

シテ・シロ式を第 3 課で見ましたが、シ・シテ・シヨウ式による頼み・促しの方がより丁寧な言い方になります。

シ・シテ・シヨウ式は‘lazima’と一緒に現われて、「～しなければならない」という意味も表わします。

((例 7)) **Lazima aje.** <彼が来なくてはならない。>

((例 8)) **Lazima asije.** <彼は来てはならない。>
(‘+ ja’ <来る>)

また, ‘bora’と一緒に現われて,「～した方がいい」という意味も表わします。

((例 9)) **Bora ule.** <(あなたは)食べた方がいい。>

((例 10)) **Bora usile.** <(あなたは)食べない方がいい。>
(‘+ la’ <食べる>)

そして, ‘ili’と一緒に現われて,「～するために」という意味も表わします。

((例 11)) **(ili) nimwone** <彼に会うために>

((例 12)) **(ili) nisimwone** <彼に会わないように>
(‘+ ona’ <会う>)

‘ili’は言わない場合もあります。

主語のシルシに 2 人称複数 of ‘tu-’を用いた, ‘tu~’の形は, <~しようよ>と相手を誘う場合によく使います。

| | |
|------|--------|
| tu ~ | <~しよう> |
|------|--------|

